

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	今年度、研修記録が残されていない。研修を年間計画に組み込んで人権教育、啓発活動に取り組む	利用者様の権利が侵害されないような状態を保ち、虐待をなくし、プライバシー保護をしていく。また、職場環境や働き方の継続的な改善ができる活動をする。	法人内研修や部署での勉強会を行い、利用者様の人権を尊重した介護サービスが出来るように職員間で話し合う。安心安全にその人らしい生活が行えるように対応をしていく。職員に対しても職場環境を整え、一人で抱え込まない工夫をする。	12ヶ月
2		重度化や終末期の在り方について指針が明文化されていない。利用者様、家族に対して対応方針を共有化し支援につなげる。	重度化した場合や終末期支援の在り方や事業所の対応方針の共有に取り組み、家族や医療関係者と連携を図り、チームで支援していける。	重度化や終末期に向けた指針を明文化する。又、契約時に重要事項説明書の中でも説明をして、事業所で出来る事を十分理解してもらう。家族、医療関係者と連携を図れるような関係を築いていく。	12ヶ月
3		災害が発生した際にも地域住民の協力も大切になる為、日ごろから避難訓練に参加してもらうように、参加を呼び掛ける。	避難誘導をする際に、慌てず確実に出来るようにすると共に、職員だけの誘導の限界を踏まえて地域の方や他事業所の協力が得られるように、一緒に訓練ができる。	一人一人の利用者様の状態を把握して、災害時の具体的な避難策を検討しておく。運営推進会議にて訓練の報告をする。又、運営推進会議の日程を訓練の日に設定していく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。